

平和のためにできること

ロシアによるウクライナ侵攻が行われてしまいました。突然のことのようにですが、その予兆はあったと、あとで知らされます。

なぜ人々が日々暮らす街に、家・保育園・学校・病院・・・にミサイルがぶち込まれなければならないのか？誰がなぜ、スイッチを押し、人々を殺し凌辱し略奪し破壊し尽くすのか？「戦争犯罪」という声も上がっていますが、どの一線を超えると「戦争犯罪」になるのか？攻めることを命じられた軍隊には、破壊し殺すことを命じられた軍隊の兵士には、おそらくその一線は見えません。軍隊にいと、どれだけ敵をやっつけたかが成果で、手柄を上げたことが自分や部隊の名誉になり昇進すると、元軍人の方の体験談です。命令には絶対に従うこと、人を殺すことを平気にする訓練も行われるとか、逃げたら殺す、ということもあるとか。

「攻められる前に敵基地を攻撃して破壊する」というのは、あらゆる戦争の始まりのことばで「自衛のための戦争」という言い訳です。ウクライナ侵攻という悲惨な事態を利用して「核の共有」まで持ち出すことに恐怖を感じます。

新型コロナウイルスはいまだ収束せず、世界各地で続く戦争・紛争・政変、それによる難民生活と、貧困・飢餓で苦しむ人々を更につらい状況に陥らせています。各地で、日本人や各国の人々が、医療活動や食糧支援、農業支援、技術指導、井戸掘り、用水路づくり、学校づくり・・・と、さまざまな活動に取り組んでいます。

「武力で平和はつukれない」という言葉をしっかり噛み締めて、できることを考えたいと思います。